

進路指導部だより



道しるべ

天王みどり学園 進路指導部

第184号

令和7年3月6日発行



将来に向けて何をする？

教頭 佐川 透

小学部低学年の担任をしていた頃、学級懇談や個別面談等で、「将来に向けてどんなことをすればいいのだろう？」「何をしておけば役立つか？」ということが話題になることがありました。この問い合わせに対してピンポイントで答えるのは難しいのですが、生活科の内容がヒントになるかもしれません。

特別支援学校の各教科の一つに生活科という教科があります。通常の小学校1・2年生の生活科とは違う教科です。生活科は「基本的生活習慣」「安全」「日課・予定」「遊び」「人との関わり」「役割」「手伝い・仕事」「金銭の扱い」「きまり」「社会の仕組みと公共施設」「生命・自然」「ものの仕組みと働き」という12の内容から構成されています。

食事や着替え、清潔に関する習慣、身辺処理などの基本的生活習慣は、幼少期の頃から繰り返すことで、定着し、生涯にわたって大事な力になります。子どもが一人ででき始めた頃合いを見計らって、大人の支援をフェードアウトしていくことが必要です。

子どもは遊びをとおして、物事に興味を抱いたり、関心を広げたりしていきます。好きな遊びを見付けると集中力が身に付いていきます。この集中する力は、国語や算数の学習や生活単元学習、作業学習など、物事に取り組む基礎の力になります。また、家族や兄弟、友達と遊ぶ中で、人と関わる力の基礎が育まれていきます。

他にも係活動などの役割、お手伝い、お金のこと、ルールや約束などのきまりなどの内容が、将来必要とされる力であることは容易に想像できると思います。

本校では、生活科の設定はありませんが、時間割の中の「日常生活の指導」「遊びの指導」「生活単元学習」や校外学習、行事などで、生活科の内容を学習できるように指導しています。

遠い先のことを考えすぎると、何をすればいいか分からなくなり焦燥感を感じてしまうことがあるかもしれません。また、できないこと、やれないことばかりに目がいってしまうと不安を感じことがあるかもしれません。そんな時こそ、できるようになったこと、今できていることを一つ一つ確認することが大事になります。また、今、芽生えてきていること、やれそうになっていることを見逃さないことも大事です。家庭だけ、学校だけでは見逃してしまうこともありますので、連絡帳や面談などで子どもの様子を交換したり、共有したりする時間がもてると、学校の指導にも家庭の子育てにも役立ちます。子どものこれまでの成長や現在の様子を見つめ、将来を思いながら、子どもたちの育ちを応援していきたいものです。





令和6年度高等部3年生の進路決定状況

就職（一般就労）<職種：作業内容など>

- 建物サービス業
 - ・ビルメンテナンス、モップ等での床清掃等

- 飲食業
 - ・調理補助、接客等

- 小売業
 - ・青果袋詰め、値札ラベル付け等

- 児童福祉事業（放課後等デイサービススタッフ）
 - ・教材準備、送迎車清掃等

福祉サービス利用【日中活動に関する利用サービスを掲載】

- 就労継続支援A型
 - スプラウト、スプレッド

- 就労継続支援B型
 - コバトのコトバ、いすとわーる、にじいろのカルテ、のあシップ
昭和つくし苑、茶場つくしんぼ、湯上天王つくし苑

- 生活介護
 - 大湯つくし苑、すまいる、ほっとばんぶー
愛心苑、たけのこ

高2 職業ガイダンス

12月13日（金）に秋田障害者職業センターの講師を招いて、職業ガイダンスを行いました。講師の方からは、会社でのルールやマナーの大切さ、仕事で必要な力は家庭でのお手伝いでたくさん身に付けられることなどを丁寧に説明していただきました。生徒からは、「家や学校での過ごしが就職の準備になることが分かった」や「家の手伝いを自分からやってみようと思った」などの声が聞かれました。

